

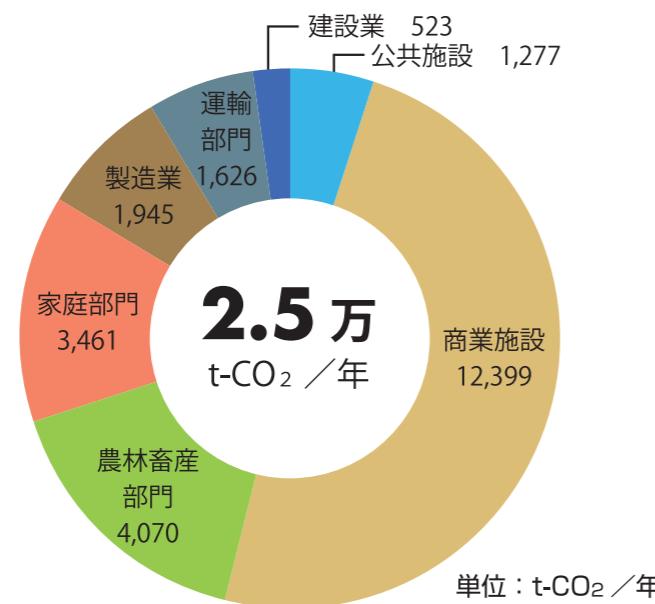
北海道大学循環共生システム研究室において
ヒアリングやアンケートにより、
赤井川村の CO₂ 排出量の調査をしました。



部 門	回答数
製造業	2 社
建設業	4 社
農業	20 軒
林業	1 社
畜産業	5 社
公共施設 商業施設 (商店や道の駅等)	38 施設
家庭部門	107 世帯

調査にご協力いただきました村民の皆様、事業者の皆様、ありがとうございました。

赤井川村全体の CO₂ 排出量

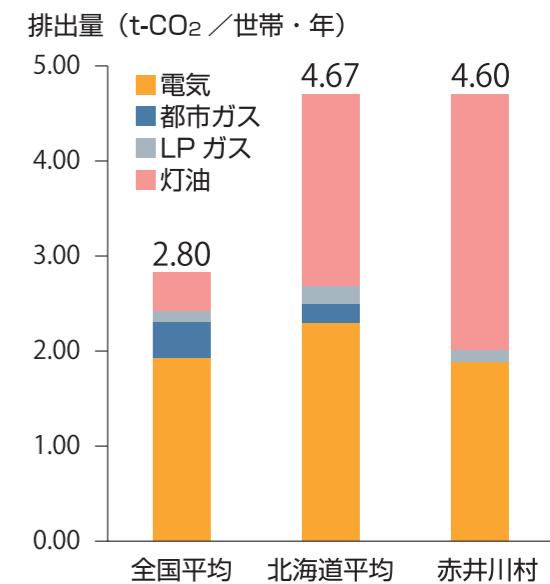


令和 3 年度の赤井川村の CO₂ 排出量は

2.5 万 t-CO₂ / 年 と推計されました。

商業施設と農林畜産部門 の割合が大きいのが特徴です。

家庭部門の CO₂ 排出量



世帯当たり 4.6 t-CO₂ / 年

自動車で地球を半周した時の
排出量に相当します。



暖房燃料としての
灯油消費量が多い
のが特徴

世帯の特徴別のエネルギー使用量

	ガス [m ³]	灯油 [L]	電気 [kWh]
オール電化高齢住宅	0	0	7,457
単身	集合住宅	25	783
	戸建て	18	1,443
二人世帯	集合住宅	15	706
	戸建て	20	1,646
三人世帯	集合住宅	17	401
	戸建て	21	1,811
四人以上	集合住宅	14	1,002
	戸建て	25	1,439

世帯人数が同じ場合、戸建ての方がエネルギー消費量が多い
世帯人数が増えると、一人当たりのエネルギー消費量が減る

村の未来のために何ができるか考えてみましょう

エネルギーを節約・転換しよう！	住民 1,000 人 /600 世帯 実践時の CO ₂ 削減量	生活上のメリット
クールビズ・ウォームビズ：エアコン設定温度を 1°C 我慢 家庭からの CO ₂ 排出量は、冷房と暖房で約 18% を占めています。適度な冷暖房で、気候に合わせて快適に過ごせる服装や取組を促すクールビズ・ウォームビズを実践しましょう。	19t-CO ₂	冷暖房に頼らない生活で 健康維持
節電：エアコンを 1 日 1 時間短く 家庭からの電気消費量のうち、約 5% も待機電力で消費されています。待機電力をなくすためにも、こまめなスイッチオフと、電気製品のプラグをコンセントから抜くことを心がけましょう。	26t-CO ₂	光熱費削減、漏電防止
節水：水使用量を 2 割減らす 上下水道の使用にも、浄水、供給、下水処理などにエネルギーを消費しており、CO ₂ 排出につながっています。こまめに水を止めたり、工夫して使用し、無駄な水を少しでも減らしましょう。	7t-CO ₂	水道代削減
省エネ家電の購入 家庭からの CO ₂ 排出量の約半分を占めているのが電気。最新の家電製品は省エネ化が進んでいます。旧型の同クラスの家電を使用していると電気代が 2 倍になることも！？	98t-CO ₂	光熱費削減
環境保全活動に積極的に参加しよう！	CO ₂ 削減量	生活上のメリット
植林やごみ拾い等の活動 地球温暖化の現状は他人事ではなく、一人ひとりの行動の上に成り立っています。地域の環境活動などに参加してみましょう。	0.8kg/ 本	
家庭ごみを減らす工夫をしよう！	住民 1,000 人 /600 世帯 実践時の CO ₂ 削減量	生活上のメリット
ごみの分別処理 「3R」（リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用））は、CO ₂ 排出量減につながります。まずは減らす工夫をしてみましょう。	4t-CO ₂	
食口スをなくそう！	住民 1,000 人 /600 世帯 実践時の CO ₂ 削減量	生活上のメリット
食事を食べ残さない 食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことです。日本では、1 人 1 日あたりおにぎり約 1 個分。自分の食べられる量の注文をし、もし残す場合は持ち帰りましょう。	54t-CO ₂	食費削減、ごみ削減
食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫 大量の食料ロスにより、廃棄時に加えて生産や流通時の CO ₂ 排出もムダになります。食べきれる量を買う、食べられるものを捨てない。フードバンクに寄付するなど、食品ロスを減らしましょう。	42t-CO ₂	美味しい食生活、季節・風土を感じる
旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活	住民 1,000 人 /600 世帯 実践時の CO ₂ 削減量	生活上のメリット
日本ではカロリーベースで約 60% を輸入食品で賄っており、その分輸送に掛かる CO ₂ 排出量が大きくなっています。食品を購入する際は、国産の物や旬の物を意識して選択してみましょう。	194t-CO ₂	無駄遣い防止
サステナブルなファッショント！	住民 1,000 人 /600 世帯 実践時の CO ₂ 削減量	生活上のメリット
今持っている服を長く大切に着る＆長く着られる服をじっくり選ぶ → 服の購入を4分の1に 日本の衣類廃棄量は年間約 100 万トン。“1 人あたり”なんと約 26 枚。洗濯表示を確認・適切にケアする、先のことを考えて買うなど、気に入った 1 枚を長く大切に着ることも大事です。	29t-CO ₂	特別な服を楽しむ

今日をきっかけにちょっとだけ
エネルギーについて考えてみませんか？



赤井川村の皆様、本研究室学生の調査・研究にご協力をいただき、ありがとうございました。
アンケート調査のお願いに耳を傾けてくださったり、エネルギー使用に関するお話を伺うことができたりと、地域に密着した研究を行うことができました。
「カーボンニュートラル」や「脱炭素」など身近に感じられない言葉かもしれませんのが、本研究が、赤井川村のむらづくりの一助となれば幸いです。
北海道大学大学院 教授 石井一英

赤井川村のカーボンニュートラル

AKAIGAWA-mura CARBON NEUTRAL



2050 年までに日本政府は日本全体で
カーボンニュートラルを達成することを宣言しています。

赤井川村・脱炭素と地域活性化コンソーシアム
(北海道大学大学院工学研究院／赤井川村／(株)ジェイアール東日本企画)